

年 報

令和3年度版



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

唐津赤十字病院

令和3年度唐津赤十字病院年報の発刊にあたって

令和3年（2021年）度の病院年報が完成いたしました。2019年末より続く新型コロナウイルス感染症は、2021年度もデルタ株、オミクロン株（BA2→BA5）などの変異株ウイルスの出現を伴って拡大収束を繰り返して第7波と感染流行が持続しています。当院では、感染症指定医療機関及び新型コロナウイルス重点医療機関として、全力を挙げて対応し、2022年10月7日までに、入院患者1177人、そのうち小児患者さんが165人、妊婦さんが53人、出産4人、80歳以上の高齢の患者さん353人等を受け入れ、12人の患者さんの死亡も経験致しました。この間の職員の皆さんの献身的対応と努力に対して、この場を借りて感謝いたします。2021年より新型コロナウイルスワクチン接種が進みましたが、ウイルスの変異に伴って感染力が強くなり、特にオミクロン株への移行後は、これまでにない患者数の拡大を認めました。ウイルスの弱毒化の傾向もあり、療養の場の中心は、入院から自宅へ移ってきましたが、総患者数の増加の為、基礎疾患を持つ患者さん、高齢者・小児の入院が増加し、また感染妊婦さんの入院管理・出産と当院の果たす役割が大きい事に変わりはない状況です。

令和3年（2021年）度はコロナウイルス感染症の拡大のため延期となっていた2回目の東京オリンピックが2021年7月に、2022年2月には北京冬季オリンピックが開催され、日本選手団の大活躍がありました。また大リーグでは、大谷翔平選手の活躍。テニスでは、大阪なおみ選手の全豪オープン、全仏オープン優勝。ゴルフでは、松山秀樹・笹尾優花選手の全米オープン優勝。また真鍋淑朗さんのノーベル賞受賞などの明るい話題もありました。一方で、長い新型コロナ感染症の流行下での、ロシアのウクライナ侵攻が2022年2月に始まり、世界的、国内的にも心配な情勢を呈しています。これらのような色々な出来事の中にあっても、私たちは、当院の佐賀県北部医療圏の最後の砦との役割に変化がない事を自覚し、地域医療に貢献していく事が求められています。

本誌では、1年間の各科・各部署の診療実績、学会活動、業務改善活動や、その他の活動について報告しております。with コロナ禍での社会活動の再開・拡大の流れのなかで、この冊子が今後の病院活動の指標となり、当院の評価の一助として、職員の励みとなると共に、当院活動の充実・発展につながる事を期待し、ご挨拶とさせていただきます。

令和4年10月
唐津赤十字病院
院長 宮原 正晴



唐津赤十字病院の理念

「安心な医療」

「あたたかい看護」

「地域への貢献」

基本方針

- ① 患者さんの人権を尊重します。
- ② 質の高い医療と看護を提供します。
- ③ 救急医療やがん医療の充実に努めます。
- ④ 地域医療連携を推進します。
- ⑤ 災害救護に貢献します。
- ⑥ 健全で安定した経営基盤を確立します。

患者さんの権利

1. 良質な医療を公平に受ける権利があります。
2. 治療や検査に関して、理解できるまで説明を受け、ご自身で決定する権利があります。
3. 医療機関を選択し変更する権利、他の医師の意見（セカンド・オピニオン）を聞く権利があります。
4. ご自身の医療情報を知る権利があります。
5. プライバシーが守られる権利があります。
6. 個人の尊厳が尊重される権利があります。

医療バランスト・スコアカード導入について

当院では、平成8年度から5次にわたり経営改善計画等を策定し、経営基盤の強化と医療の充実の両立を目指してきました。

病院経営を取り巻く状況は刻一刻と変化しており、2025年や2040年を1つの区切りとして、医療福祉のあるべき姿が「地域包括ケアシステム」として周知されています。当院においても、佐賀県保健医療計画における当院の役割を自覚し、経営方針を立てていくことが求められます。また、近年の診療報酬改定では、病院の機能分化が推進されており、要件の厳格化およびマイナス改定など、厳しい状況が続きます。

このような状況下で、当院が担うべき医療を積極的に展開していくために、医師をはじめとする医療スタッフの役割は大きく、長期的な視座のもとスタッフ確保に尽力してきた結果、職員数は平成20年度（424名）から200名近く拡充することができました。

600名を越す職員を抱える病院において、しばしば課題となるのは、職員間の意思疎通が希薄化することです。これは、職員数の増大のみならず、国家資格の有資格者による多職種協働という病院特有の事情が影響しています。

このような課題に対して、当院では従来3～5年にわたる経営改善計画の策定・周知では、安定した病院経営を持続できないと判断し、医療バランスト・スコアカード（以下「BSC」）を平成26年度より本格導入するに至りました。

BSCの運用においては、病院BSCのスコアカードを年度初めに作成・周知し、院内各部署による各部署BSCのスコアカードを作成しています。その後、院長ヒアリングを通じて、各部署との意思疎通を図り、中期評価、年度末評価を行うことで、各部署の業務改善の進捗状況を管理しています。

令和3年度病院B S C

○戦略マップ

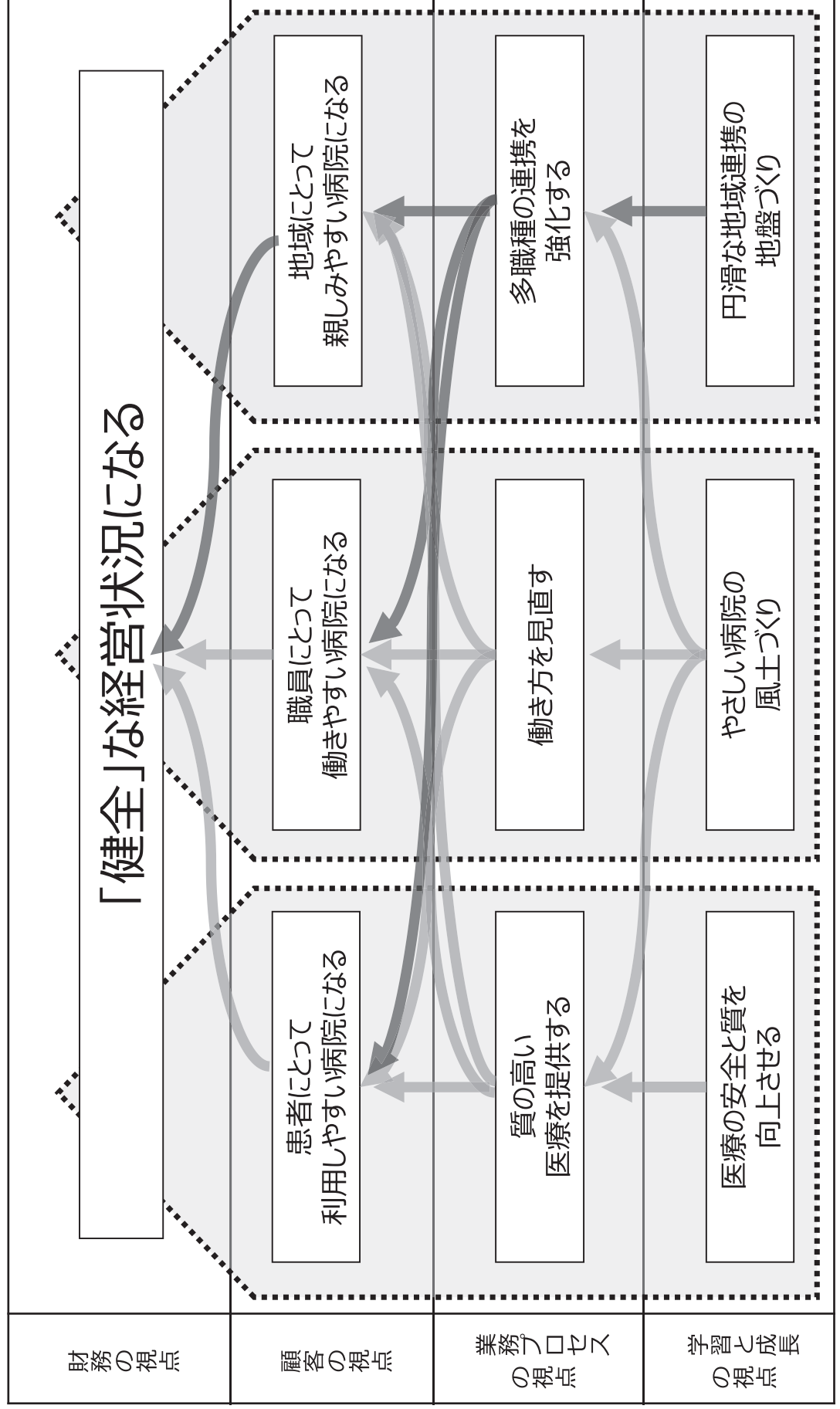
○スコアカード

ミッション：「安心な医療」「あたたかい看護」「地域への貢献」
 ビジョン：「人・地域・時代」に選ばれつづける病院」

安心・安全な
医療の提供

みんなにやさしい
病院づくり

地域中核病院として
連携を強化する



令和3年度 唐津赤十字病院 B S C

戦略テーマ		ビジョン・目標							
安心・安全な医療の提供	地域中核病院として連携を強化する	戦略目標	重要成功要因	成果尺度	実績値	令和3年度目標値	行動計画 (アクションプラン)	責任部署又は責任者氏名	・紹介件数 9,500件 ・逆紹介件数 6,900件
				医療収益 減価償却利益 手術件数 外来化学療法件数 新入院患者数 病床稼働率 平均在院日数 (管理会計報告書) DPC入院期間II 以内の割合	令和元年度 88億4,368万円 (7億3,697万円/月) 5億1,925万円 (4,327万円/月) 2,521件 (210件/月) 3,074件 (256件/月) 7,416人 (618人/月) 89.7% 12.5日 56.9%	令和2年度 78億8,666万円 (6億5,722万円/月) 5億9,587万円 (4,799万円/月) 2,209件 (183件/月) 2,774件 (231件/月) 6,249人 (521人/月) 76.5% 12.5日 59.3%	令和3年度 88億 (7億3,334万円/月) 5億円 (4,167万円/月) 2,500件 (209件/月) 3,000件 (250件/月) 7,400人 (617人/月) 90% 12.0日以下 65%	・紹介件数 9,500件 ・逆紹介件数 6,900件	
財務の視点		「健全」な経営状況になる	医療収支を改善する	医療収益 減価償却利益 手術件数 外来化学療法件数 新入院患者数 病床稼働率 平均在院日数 (管理会計報告書) DPC入院期間II 以内の割合	令和元年度 88億4,368万円 (7億3,697万円/月) 5億1,925万円 (4,327万円/月) 2,521件 (210件/月) 3,074件 (256件/月) 7,416人 (618人/月) 89.7% 12.5日 56.9%	令和2年度 78億8,666万円 (6億5,722万円/月) 5億9,587万円 (4,799万円/月) 2,209件 (183件/月) 2,774件 (231件/月) 6,249人 (521人/月) 76.5% 12.5日 59.3%	令和3年度 88億 (7億3,334万円/月) 5億円 (4,167万円/月) 2,500件 (209件/月) 3,000件 (250件/月) 7,400人 (617人/月) 90% 12.0日以下 65%	・紹介件数 9,500件 ・逆紹介件数 6,900件	
顧客の視点		患者にとって 利用しやすい 病院になる	患者満足度を向上する	「総合満足度」の「満足」の割合 「接遇面全館」について「1」 「非常に満足」+「満足」の割合 職員満足度調査 「満足」の割合 職員の御座る環境に関する 取り組み件数 有給休暇5日以上 取得者の割合	令和元年度 93.1% (567/609名) 9,501件 (791.8件/月) 2,250件 (187.5件/月) 6,922件 (576.8件/月) 2,164件 (180.3件/月) 63件 (5.3件/月)	令和2年度 92.0% (561/610名) ※70以上 9,501件 (792件/月) 1,867件 (156件/月) 6,553件 (546件/月) 2,443件 (204件/月) 58件 (4.8件/月)	令和3年度 100% 9,500件 (792件/月) 2,200件 (184件/月) 6,900件 (575件/月) 2,300件 (192件/月) 55件以下 (4.5件以下/月)	・患者満足度調査の結果を分析し、改善に取り組み ・患者満足度調査の結果を分析し、改善に取り組み ・各部署で改善の取組む ・毎年度満足度調査を実施する ・職員満足度調査を実施する ・「クライアント」の推進 ・勤怠システムを活用する ・有休を取得しやすい体制づくり ・過去の傾向を分析し、対策を検討・実施する ・迅速な報告および対応できる体制を整える ・地域における当院の役割を院内・院外に周知する	
業務プロセスの視点		質の高い医療を提供する	医療の質を向上する	紹介件数を増やす かがりついでを推奨する	紹介件数 救急車の受入台数 逆紹介件数 インシデント・アクシデントの報告数 レベル3b以上の数	令和2年度 92.0% (561/610名) ※70以上 9,501件 (792件/月) 1,867件 (156件/月) 6,553件 (546件/月) 2,443件 (204件/月) 58件 (4.8件/月)	令和3年度 100% 9,500件 (792件/月) 2,200件 (184件/月) 6,900件 (575件/月) 2,300件 (192件/月) 55件以下 (4.5件以下/月)	・逆紹介件数を増やす ・かがりついでを推奨する ・安全の意識を向上する ・医療の質を向上する ・働き方改革を推進する ・業務の質をブラッシュアップする	
学習と成長の視点		多職種の連携を強化する	多職種の連携を強化する	医師の質を向上する 働き方改革を推進する 業務の質をブラッシュアップする	医師の質に関する 見直し回数 委員会の見直し回数 文書管理の見直し回数 クリニカルパスの利用率 P/FM体制の導入回数 P/FM体制の見直し回数 医師の質に関する指標の 見直し回数 危機管理体制の 見直し件数 接遇の向上に関する 取り組み件数 働きやすい 職場環境を整備する	令和2年度 1回 1回 1回 1回 30.1% — — 1回 1回 53.6% — — 1回 1回	令和3年度 1回 1回 60% 1回 1回	・医師の質を向上する ・働き方改革を推進する ・業務の質をブラッシュアップする ・多職種の連携を強化する ・医師の質に関する見直し回数 ・委員会の見直し回数 ・文書管理の見直し回数 ・クリニカルパスの利用率 ・P/FM体制の導入回数 ・P/FM体制の見直し回数 ・医師の質に関する指標の見直し回数 ・危機管理体制の見直し件数 ・接遇の向上に関する取り組み件数 ・働きやすい職場環境を整備する	
地域連携の視点		円滑な地域連携の地盤づくり	円滑な地域連携の地盤づくり	医師の安全と質を向上させる やさしい病院の風土づくり 円滑な地域連携の地盤づくり	医師の安全と質に関する 見直し回数 危機管理体制の見直し件数 接遇の向上に関する 取り組み件数 働きやすい 職場環境を整備する 地域連携への 連携強化する	令和2年度 1件/各部署 1回/各部署 — — — 1回 1回	令和3年度 1件/各部署 1回/各部署 — — — 1件/各部署 1回/各部署 20件	・医師の安全と質を向上させる ・やさしい病院の風土づくり ・円滑な地域連携の地盤づくり ・BCP、防災・災害マニュアルを見直し、周知徹底する ・各部署での危機管理体制（災害、犯罪、感染症など）を検討する ・接遇について各部署で取組む ・外注の接遇を強化する ・全職対象研修の年間計画を立てる ・e-learningを積極的に活用する ・各部署の情報発信（道徳や案内）の内容や手段を見直す ・各部署主催で職員向けのイベントを企画・実施する ・地域連携病院等との関係強化 ・既存連携病院向けに定期的な広報を行う	

I 病院の概況

1. 唐津赤十字病院の変遷	1
2. 病院の概要	5
3. 病床数	8
4. 組織図	9
5. 職員の状況	10
6. 土地・建物の概要	11
7. 施設案内図	12
8. 主要医療機器	13
9. 令和3年度医療施設特別会計歳入歳出決算書	16
10. 令和4年度医療施設特別会計歳入歳出予算概算書	17
11. 決算の推移（過去4か年）	18
12. 院内委員会等組織表	19

II 統計

1. 統計

(1) 入院患者延数等	20
(2) 外来患者延数等	20
(3) 救急患者数	20
(4) 平均在院日数等の推移	21
(5) 入院診療単価等の推移	22
(6) 入院患者延数等の推移	23
(7) 診療科別入院患者数	24
(8) 診療科別外来患者数	24
(9) 手術件数	24
(10) 月別患者数（入院・外来）	25
(11) 検査件数	25
(12) 放射線撮影件数	26
(13) 給食件数	26
(14) 薬剤業務数	26

III 各部門の概況

1. 診療部

・脳神経内科	27
・呼吸器内科	29
・消化器内科	31
・循環器内科	36
・血液内科	38
・糖尿病内科	46
・腎臓内科	48
・感染症内科	50
・肝臓内科	54
・小児科	55

・外科	58
・整形外科	64
・脳神経外科	66
・産婦人科	67
・眼科	69
・皮膚科	70
・泌尿器科	72
・放射線科	74
・麻酔科	76
・救急科	78
・病理診断科	80
・形成外科	82
・歯科口腔外科	84
2. 薬剤部	
・薬剤課	86
3. 看護部	90
4. 医療技術部	
・栄養課	100
・臨床工学技術課	102
・検査技術課	106
・放射線技術課	109
・リハビリテーション技術課	111
5. 医療安全推進センター	112
6. 感染管理室	118
7. 教育研修推進センター	124
8. 救命救急管理センター	126
9. がん医療推進センター	127
10. 患者総合支援センター	130
11. 疾病予防センター	134
12. 広報推進室	135
13. 事務部	
・総務課	136
・会計課	138
・医事課	140
・診療支援課	142
・情報システム課	158
・経営対策課	159
14. 医療社会事業部	
・医療社会事業課	162
IV 論文	167

I 病院の概況

1. 唐津赤十字病院の変遷

昭和32年	10月	唐津赤十字病院開設 内科、外科、小児科、理学診療科 4科 〈一般 46床 結核 214床 計 260床〉
昭和33年	1月	産婦人科開設
	10月	耳鼻咽喉科開設、理学診療科を放射線科に変更
	11月	整形外科開設
	12月	気管食道科開設
昭和35年	6月	唐津市伝染病棟 30床併設 一般 35床増床 〈一般 121床 結核 142床 伝染 30床 計 293床〉
	7月	一般 3床 結核 2床増床 〈一般 124床 結核 144床 伝染 30床 計 298床〉
	10月	眼科開設〈総合病院承認〉
昭和39年	2月	ラジウム治療室 2床増床 〈一般 126床 結核 144床 伝染 30床 計 300床〉
昭和42年	4月	東松浦郡伝染病棟 30床併設 〈一般 126床 結核 144床 伝染 60床 計 330床〉
昭和44年	3月	結核 74床を一般病床へ変更 〈一般 200床 結核 70床 伝染 60床 計 330床〉
昭和45年	2月	救急告示病院指定
	12月	唐津市助産施設 3床増床 〈一般 203床 結核 70床 伝染 60床 計 333床〉
昭和46年	8月	理学診療科開設
昭和48年	4月	心療内科開設
昭和54年	1月	病院改築着工
昭和55年	3月	病院改築第1期工事完工
	6月	皮膚科開設
昭和56年	2月	病院改築竣工 (S54.1～S56.1)
	4月	病院群輪番制病院指定
	6月	泌尿器科開設
昭和57年	4月	脳神経外科、神経内科開設
	11月	病床変更 結核 70 → 30床、伝染 60 → 30床、70床を一般病床へ変更 〈一般 273床 結核 30床 伝染 30床 計 333床〉
昭和58年	4月	歯科開設
	6月	血液透析開始
昭和63年	4月	麻酔科開設
	9月	ICU・CCU、救急処置室等増築工事竣工
平成元年	4月	一般 10床増床〈一般 283床 結核 30床 伝染 30床 計 343床〉 医事システム運用開始
平成3年	3月	リハビリテーション等棟竣工
平成4年	3月	2階西病棟改修竣工 (小児病棟)
平成5年	3月	一般 30床増床〈一般 313床 結核 30床 伝染 30床 計 373床〉
	5月	「経営改善委員会」設置
	6月	HIV感染症に関する中核医療機関指定
	11月	HIV感染症に関する地域中核医療機関指定 (同上の要領変更による)
平成6年	3月	互助会設立
	4月	結核病床 30床休止
平成7年	11月	外来診療録ジャストサーチシステム導入

I 病院の概況	平成8年	4月	「経営改善実施計画」スタート（県、市町村補助開始）
		6月	初診料特定療養費届出（紹介患者Ⅵ）
		10月	手術室（中央材料室）改修工事、血液透析室移転工事竣工
		12月	ICU新設工事、外科・脳外科外来移転工事竣工、中央処置室運用開始
	平成9年	1月	ICU届出（第3号）
		2月	2階東病棟改修工事竣工
		3月	新看護届出（第72号）、血管造影室（一般、心臓カテーテル）竣工
		4月	心臓カテーテル検査運用開始
		7月	5階病棟改修工事竣工
		9月	院外処方箋発行開始
		11月	地域災害医療センター（地域災害拠点病院）指定
II 統計		11月	オーダーリングシステム（処方）、医事、薬剤システム運用開始
	平成10年	1月	結核病床 30床廃止 〈一般 313床 伝染 30床 計 343床〉
		4月	「臨床研修病院」指定
		4月	呼吸器科、消化器科、循環器科開設 気管食道科廃止
		4月	再来予約オーダー運用開始
		6月	駐車場有料化
		9月	病棟オーダー、検査オーダー、検査部門システム、給食部門システム運用開始
		12月	検査予約オーダー・SPDシステム運用開始
	平成11年	4月	感染症医療機関指定（伝染 30床 → 感染症 4床） 〈一般 313床 感染 4床 計 317床〉
		4月	心療内科休診
		8月	「診療録管理室」設置
III 各部門の概況		10月	医療事故防止マニュアルの策定（リスクマネージメント）
	平成12年	1月	「診療情報の提供に関する要領」策定
		4月	旧病棟（伝染病棟）解体
		5月	駐車場40台分増設
		9月	MRI更新、「地域医療連携室」運営開始
		10月	システム運用による院外処方箋発行開始
		12月	無菌手術棟増築工事竣工
	平成13年	1月	初診料特定療養費の変更（750円 → 1,050円）
		3月	電話交換機更新、院内PHS導入
		4月	「経営自立3カ年計画」スタート
		7月	新看護2：1体制届出
平成14年	1月	外来診療録1患者1診療録運用開始	
	10月	ホームページ開設	
IV 論文		11月	ラジウム治療廃止
	平成15年	2月	新病棟増築工事竣工、受水槽移設工事完成
		4月	一般病床 20床増床 〈一般 333床 感染症 4床 計 337床〉
		4月	南病棟運用開始、病棟再編成
		4月	2階西病棟休床
		9月	CRシステム稼働
	平成16年	3月	新医事システム稼働、急性期入院加算届出辞退
		4月	「第3次経営改善計画」スタート
		10月	共同利用型病床届出
	平成17年	4月	初診料特定療養費の変更（1,050円 → 1,575円）
		8月	体外衝撃波腎・尿管結石破碎術届出

平成18年	2月	リストバンド運用開始
	4月	一般病棟入院基本料10対1
平成19年	7月	テレビ掲示システム導入
	8月	イントラネット（グループウェア）導入
	9月	（財）日本医療機能評価機構による病院機能評価受審
	11月	デジタルX線テレビシステム更新
	12月	特定集中治療室（ICU）管理料施設基準辞退
	1月	7対1入院基本料届出、地域がん診療連携拠点病院指定
	2月	「看護管理センター」設置
	2月	NST稼働施設認定
平成20年	3月	64列マルチスライスCT導入
	4月	「第4次経営改善計画」スタート
	4月	テレパソロジーによる病理組織迅速顕微鏡検査開始
	7月	地域医療支援病院指定
	8月	病院機能評価（Ver.5.0）認定
	10月	開院50周年
	12月	新医療情報システム（オーダーリング）稼働
	平成21年	1月
4月		産婦人科医1人体制へ
7月		救急科開設
10月		病院敷地内全面禁煙
平成22年	12月	内視鏡下椎弓切除術、内視鏡下椎間板摘出（切除術）開始
	3月	佐賀県災害派遣医療チーム（佐賀県DMAT）指定病院へ指定 DPC算定開始 地域救命救急センター設置（認定）
平成23年	7月	「ほほえみの会（がん患者会）」発足
	3月	循環器用血管撮影装置更新
	4月	新医事システム（HOPE）稼働 光サーチシステム機器の更新 産婦人科医2人体制へ
平成24年	9月	佐賀県がん診療連携協議会スタート
	10月	「市民公開講座」の第1回目を開催
	1月	ホームページ全面リニューアル
	4月	救護活動市民報告会開催 （東日本大震災における唐津赤十字病院の救護班の活動報告会） 産婦人科医3人体制へ 小児科医5人体制へ 病理診断科開設 「病院建設推進室」設置 「フットケア外来」開設
	7月	フィルムレス用モニター一部設置・稼働
	9月	第34回佐賀救急医学会
	10月	形成外科開設 フィルムレス用モニタ設置完了・全稼働
平成25年	11月	地域連携システム稼働
	1月	「ハートケア外来」開設
	2月	フィルムレス全運用開始
	3月	唐津赤十字病院NST公開講座「地域一体型の栄養サポートをめざして」 血管造影装置更新
	4月	「臨床工学技術課」設置
9月	新病院設計業者決定プロポーザル	

I 病院の概況		12月	新病院建設基本設計開始
	平成25年	2月	日本医療マネジメント学会（唐津）
		4月	「唐津赤十字病院経営計画」スタート
		6月	医療バランスト・スコアカード（BSC）導入開始
	平成26年	3月	生理検査部門システム導入 リハビリ管理システム導入
		6月	新病院移転新築工事起工式
	平成28年	4月	新病院引渡し式
		7月	新病院落成式
		8月	新病院開院（二太子地区 → 和多田地区） 〈28科 一般 300床 感染 4床 計 304床〉 電子カルテシステム稼働
	平成29年	3月	原子力災害拠点病院に指定
	4月	地域連携小児救急医療センター開設	
	6月	病棟薬剤業務開始（全ての病棟で開始）	
平成30年	4月	歯科口腔外科開設	
	9月	病院機能評価（3rdG: Ver.2.0）受審〔一般病院2〕	
平成31年	2月	病院機能評価（3rdG: Ver.2.0）認定〔一般病院2〕	
令和元年	8月	令和元年度佐賀豪雨災害への救護班派遣 （8月29日～8月30日、杵藤エリア）	
	9月	令和元年度佐賀豪雨災害への看護師派遣 （9月7日～9月9日）	
令和2年	7月	令和2年7月豪雨災害への救護班派遣《人吉・球磨地域》 （第1班：7月8日～7月11日、第2班：7月17日～7月20日）	
令和3年	4月	肝胆膵外科、感染症内科を標榜開始（計31科）	
令和4年	3月	高エネルギー放射線治療装置更新 （バリアンメディカルシステムズ社製 TrueBeam）	
II 統計			
III 各部門の概況			
IV 論文			

2. 病院の概要

◇名称	唐津赤十字病院
◇所在地	佐賀県唐津市和多田2430
◇開設年月日	昭和32年10月15日
◇診療科目	内科・呼吸器内科・消化器内科・血液内科・腫瘍内科・糖尿病内科 神経内科・腎臓内科・循環器内科・感染症内科・小児科・外科・呼吸器外科 消化器外科・乳腺外科・肝胆膵外科・整形外科・脳神経外科・皮膚科・泌尿器科 産婦人科・眼科・耳鼻咽喉科・放射線科・麻酔科・救急科 形成外科・精神科・リハビリテーション科・病理診断科・歯科口腔外科 31科
◇特殊医療施設	<ul style="list-style-type: none"> ・臨床研修病院（基幹型・九大協力型・佐大協力型） ・地域がん診療連携拠点病院 ・地域医療支援病院 ・地域救命救急センター 16床 ・無菌治療室 4床 ・血液透析室 11床 ・無菌手術室 1室 ・感染症病床 4床 ・共同利用型病床 5床 ・外来化学療法室 21床 ・佐賀県緊急医療施設（管理受諾）
◇救急・災害等	地域救命救急センター 救急告示病院 地域災害拠点病院（地域災害医療センター） 第二種感染症指定医療機関 原子力災害拠点病院 HIV感染症に関する地域中核医療機関
◇高額医療機器	64列・320列マルチスライスCT、血管造影装置（一般、心臓カテーテル用） RI（シンチレーションカメラ）、ライナック（高エネルギー放射線治療装置） MRI（Gyrosan Intera 1.5T、3.0T） 体外衝撃波腎・尿管結石破碎装置
◇許可病床数	304床（一般 300床、感染症 4床）
◇敷地面積	28,900㎡（市有地無償貸与）
◇延べ床面積	28,173.29㎡ 本館（鉄筋コンクリート造7階建） 23,303.19 ㎡ エネルギー棟（鉄筋コンクリート造2階建） 806.18 ㎡ マニホールド（鉄筋コンクリート造平屋建） 21.00 ㎡ 立体駐車場（鉄骨造3階建） 4,042.92 ㎡
◇駐車場	641台

I 病院の概況

II 統計

III 各部門の概況

IV 論文

<p>◇施設基準</p>	<p>歯科点数表の初診料の注1に規定する施設基準 歯科外来診療環境体制加算1 一般病棟入院基本料（急性期一般入院料1） 総合入院体制加算3 救急医療管理加算 超急性期脳卒中加算 診療録管理体制加算1 医師事務作業補助体制加算1（25対1） 急性期看護補助体制加算（25対1）夜間100対1急性期看護補助体制加算 夜間看護体制加算 療養環境加算 重症者等療養環境特別加算 無菌治療室加算2 栄養サポートチーム加算 医療安全対策加算I（医療安全対策地域連携加算1） 感染防止対策加算I（感染防止対策地域連携加算・抗菌薬適正使用支援加算） 患者サポート体制充実加算 褥瘡ハイリスク患者ケア加算 ハイリスク妊娠管理加算 ハイリスク分娩管理加算 後発医薬品使用体制加算1 病棟薬剤業務実施加算1 病棟薬剤業務実施加算2 データ提出加算2イ 入退院支援加算1（入院時支援加算） 認知症ケア加算3 せん妄ハイリスク患者ケア加算 精神疾患診療体制加算 地域医療確保体制加算 救命救急入院料3 告示注3、注7（小児加算） 小児入院医療管理料3 入院食事療養（I） 歯科疾患管理料の注11に規定する総合医療管理加算及び歯科治療時管理料 クラウンブリッジ維持管理料 上顎骨形成術（骨移動を伴う場合に限る。）（歯科） 下顎骨形成術（骨移動を伴う場合に限る。）（歯科） 歯科口腔リハビリテーション料2 心臓ペースメーカー指導管理料の注5に規定する遠隔モニタリング加算 糖尿病合併症管理料 がん性疼痛緩和指導管理料 がん患者指導管理料イ、がん患者指導管理料ロ 乳腺炎重症化予防・ケア指導料 地域連携小児夜間・休日診療料1 糖尿病透析予防指導管理料 外来放射線照射診療料 ニコチン依存症管理料 開放型病院共同指導料 がん治療連携計画策定料 肝炎インターフェロン治療計画料 ハイリスク妊産婦連携指導料1 薬剤管理指導料 医療機器安全管理料1 医療機器安全管理料2 在宅患者訪問看護・指導料及び同一建物居住者訪問看護・指導料 持続血糖測定器加算及び皮下連続式グルコース測定 遺伝学的検査 先天性代謝異常症検査</p>
--------------	--

◇施設基準	BRCA1/2遺伝子検査 HPV核酸検出及びHPV核酸検出（簡易ジェノタイプ） 検体検査管理加算（Ⅳ） 時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト ヘッドアップテイルト試験 コンタクトレンズ検査料Ⅰ 小児食物アレルギー負荷検査 画像診断管理加算 2 CT撮影及びMRI撮影 冠動脈CT撮影加算 外傷全身CT加算 心臓MRI撮影加算 乳房MRI撮影加算 小児鎮静下MRI撮影加算 抗悪性腫瘍剤処方管理加算 外来化学療法加算 1 無菌製剤処理料 心大血管疾患リハビリテーション料（Ⅰ）初期加算 脳血管疾患等リハビリテーション料（Ⅰ）初期加算 運動器リハビリテーション料（Ⅰ）初期加算 呼吸器リハビリテーション料（Ⅰ）初期加算 がん患者リハビリテーション料 人工腎臓（慢性維持透析を行った場合 1） 導入期加算 1 組織拡張器による再建手術（乳房（再建手術）の場合に限る。） 椎間板内酵素注入療法 緑内障手術（緑内障治療用インプラント挿入術（プレートのあるもの）） 乳がんセンチネルリンパ節加算 1 及びセンチネルリンパ節生検（併用） 乳がんセンチネルリンパ節加算 2 及びセンチネルリンパ節生検（単独） 乳腺腫瘍画像ガイド下吸引術（一連につき）（MRIによるもの） ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術（乳房切除後） 食道縫合術（穿孔、損傷）（内視鏡によるもの）等 経皮的冠動脈形成術（特殊カテーテルによるもの） ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術 大動脈バルーンパンピング法（IABP法） 腹腔鏡下肝切除術（部分切除、外側区域切除） 早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術 バルーン閉塞下逆行性経静脈的塞栓術 腹腔鏡下腓腫瘍摘出術 腹腔鏡下腓体尾部腫瘍切除術 体外衝撃波腎・尿管結石破碎術 医科点数表第 2 章第 10 部手術の通則 16 に掲げる手術 輸血管理料 Ⅰ 輸血適正使用加算 人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算 麻酔管理料（Ⅰ） 放射線治療専任加算 外来放射線治療加算 高エネルギー放射線治療 1 回線量増加加算 病理診断管理加算 Ⅰ 悪性腫瘍病理組織標本加算 酸素の購入単価に関する届出 特別の療養環境の提供（特別室）の届出 180 日超特定療養費 病床数が 200 床以上の病院等について受けた初診・再診の実施（変更）報告書
-------	---

3. 病床数

(1) 許可病床数

項目	区分	病 床 数
種別	一 般 病 床	300床
	感 染 症 病 床	4床
合 計		304床

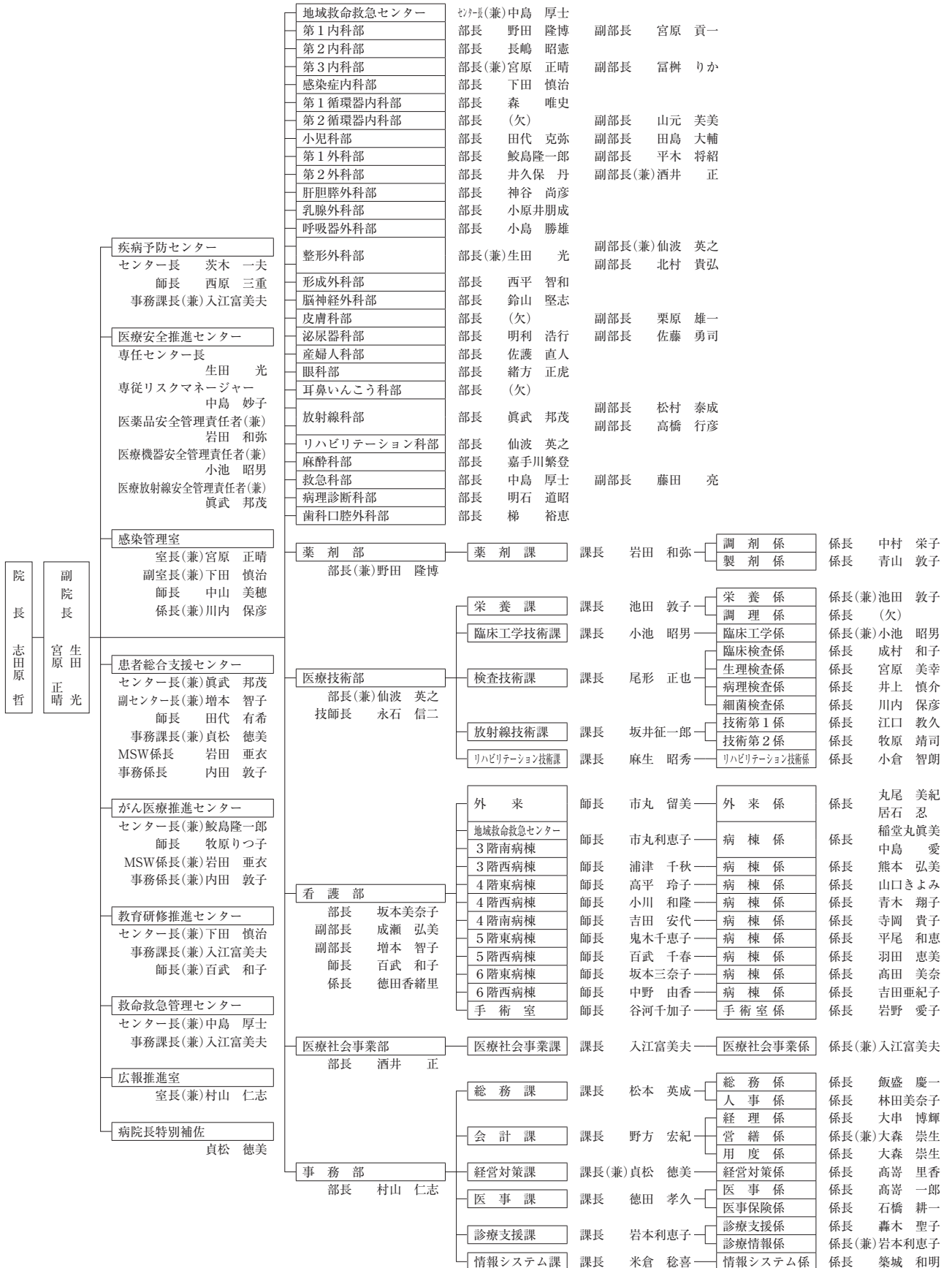
(2) 病棟別病床数

病棟	区分	許可病床数	実動病床数	主な診療科等
地域救命救急センター(3階南)		16床	16床	重症
3階西		40床	40床	内科系 脳神経外科 眼科
4階東		25床	25床	産婦人科 外科 乳腺外科
4階西		42床	42床	外科 乳腺外科
4階南		15床	15床	小児科 (感染症病床4床含む)
5階東		42床	42床	整形外科 泌尿器科
5階西		40床	40床	混合
6階東		42床	42床	内科系 (無菌室4床含む)
6階西		42床	42床	内科系 (陰圧室2床含む)
合 計		304床	304床	

※内科系（内科・糖尿病内科・腎内科・呼吸器内科・消化器内科・血液内科・神経内科）

4. 組織図

[R3.4.1現在]



I 病院の概況

II 統計

III 各部門の概況

IV 論文

5. 職員の状況

令和4年3月31日現在

	全職員	正職員	常 嘱	臨 時	非常嘱	パート
医師	86	64	22			
医師	66	64	2			
レジデント	7		7			
研修医	11		11			
嘱託医師						
県派遣	2		2			
看護師	326	307	11			8
助産師	13	13				
看護師	313	294	11			8
准看護師						
コメディカル	82	79	2	1		
薬剤師	16	16				
検査技師	19	17	2			
放射線科技師	15	15				
臨床工学技士	5	5				
栄養士	4	4				
理学療法士	10	10				
視能訓練士	2	2				
歯科衛生士	2	2				
マッサージ師	1	1				
言語聴覚士	3	3				
作業療法士	4	3		1		
公認心理師	1	1				
臨床心理士						
事務	65	31	30	2		2
県派遣						
事務	52	29	19	2		2
メディカルクラーク	13	2	11			
福祉職	38	8	30			
社会福祉士	6	6				
介護福祉士	2	2				
ケアワーカー	30		30			
その他	16	5	7	3		1
看護助手	3	2		1		
クラーク	3		3			
薬剤助手	2		2			
放射線科助手	3		2	1		
検査技術課助手	1					1
調理師	3	3				
歯科口腔外科受付	1			1		
合 計	613	494	102	6		11

6. 土地・建物の概要

(1) 土地

敷地面積 28,900㎡

(2) 建物

名称	構造	階	床面積	用途	建築年月日
本館	鉄筋コンクリート造	1	5,914.27㎡	総合受付・ガレリア・医事課・患者総合支援センター・外来診察室・中央処置室・放射線科・検査(生理)・内視鏡室・疾病予防センター・佐野講堂・コンビニ・患者ラウンジ・ATM・院内保育所	H28.4.30
		2	4,818.61㎡	血液浄化センター・リハビリテーション・外来化学療法室・薬剤部・検査技術課・栄養課・医局・事務室・倉庫他	
		3	3,874.73㎡	病棟・手術室・中央材料室・MEセンター	
		4	3,145.71㎡	病棟	
		5	2,497.40㎡	病棟・看護部	
		6	2,497.40㎡	病棟	
		7	555.07㎡	搬送EVホール・設備機械室	
本館計			23,303.19㎡		
エネルギー棟	鉄筋コンクリート造	1	607.24㎡	中央監視室・備蓄倉庫・電気室・医療ガス機械室・倉庫他	H28.4.30
		2	198.94㎡	自家発電機室・廃棄物庫等	
エネルギー棟計			806.18㎡		
マニホール	鉄筋コンクリート造	1	21.00㎡	マニホール	H28.4.30
マニホール計			21.00㎡		
立体駐車場	鉄骨造	1	1,010.76㎡	駐車場	H28.5.17
		2	1,516.08㎡	駐車場	
		3	1,516.08㎡	駐車場	
立体駐車場計			4,042.92㎡		
延べ床面積 合計			28,173.29㎡		

7. 施設案内図

病棟編成

7階	ヘリポート		
6階	6階西病棟 内科系 42床	CW控室 学生控室	6階東病棟 内科系 42床
5階	5階西病棟 混合病棟 40床	看護管理センター 医療安全推進センター 感染管理室	5階東病棟 整形外科 泌尿器科 42床
4階	4階西病棟 外科 乳腺外科 42床	産婦人科外来	4階東病棟 産婦人科 外科 乳腺外科 25床
		4階南病棟（小児病棟） 小児科 15床（感染症病床4床を含む）	
3階	3階西病棟 脳神経外科 内科系 眼科 40床	手術室6室 （無菌手術室1室を含む）	
		3階南病棟（救命救急センター） 地域救命救急センター 16床	
2階	事務室 職員ラウンジ 会議室 医局 SPD カルテ庫	リハビリテーション技術課 薬剤部 栄養課 検査技術課 血液浄化センター 外来化学療法室	霊安室 当直室
1階	総合受付 外来 コンビニエンスストア 患者ラウンジ 院内保育園 佐野講堂	ガレリア 患者総合支援センター 疾病予防センター 医事課 生理検査室 内視鏡室	中央処置室 放射線科 守衛室 救急外来 小児救急センター

8. 主要医療機器

機器名	数量	設置場所	取得年月日	
ライナック (PRIMUS Mid-Energy M2-6745)	1	放射線 技術課	平成20年3月20日	
循環器用血管撮影装置 (INF-X-8000V)	1		平成22年3月31日	
一般X線撮影装置	1		平成23年9月30日	
頭腹部用血管撮影装置 (シーメンス)	1		平成24年3月31日	
放射線治療計画装置 エレクタ Xio	1		平成26年11月28日	
核磁気共鳴画像診断装置MRI (3.0T)	1		平成28年7月11日	
骨密度測定装置	1		平成28年7月29日	
X線コンピュータ断層撮影装置CT (320列)	1		平成28年8月1日	
X線TV撮影システム (ZEXIRA)	1		平成30年3月28日	
X線TV撮影システム (Ultimax-i)	1		平成30年5月28日	
核磁気共鳴画像診断装置MRI (1.5T)	1		令和元年9月19日	
移動式X線撮影装置 (CALNEO AQRO)	1		令和元年9月14日	
DRパネル CALNEO Smart S77	1		令和元年9月14日	
治療計画装置 Monaco	1		令和2年5月28日	
治療計画MU評価システム装置 (RadCalc)	1		令和2年5月28日	
角度可変2検出器型ガンマカメラ (Symbia EvoExcel)	1		令和2年7月31日	
リファレンス線量計 (RAMTEC Duo)	1		令和2年11月30日	
全身用X線80列CT装置 (Prime SP)	1		令和2年12月12日	
富士フイルム電動式立位撮影装置 (CALNEO PU C)	1		令和3年2月26日	
ガンマーポジショニングシステム (Navigator2.0)	1		令和3年11月8日	
高精度放射線治療システム (TrueBeam)	1	令和4年3月14日		
バーチャルスライドシステム (C9600-50)	1	検査室	平成19年4月25日	
自動血液・尿分析検査システム (シスメックス)	1		平成19年10月22日	
東芝フルデジタル超音波診断装置 Aplio XG	1		平成21年4月13日	
循環器超音波診断装置 (iE33 Live3D)	1		平成23年10月31日	
生理検査システム (H1-MEDIONシステム一式)	1		平成26年3月31日	
超音波画像診断装置 (aplio 400)	1		平成28年3月31日	
血液培養装置 (バクテアラート3D)	1		平成29年6月30日	
自動細菌同定感受性検査装置 (バイテック2)	1		平成29年6月30日	
超音波診断装置 (EPIQ Elite)	1		令和2年5月22日	
感染防止機能付クリオスタット	1		令和2年10月23日	
超音波診断装置 (Aplio a Verifia)	1		令和2年11月11日	
核酸抽出装置 (magLEAD 12gC)	1		令和2年11月24日	
細菌検査システム (ICONS21)	1		令和2年11月30日	
全自動遺伝子解析装置 (ミュータスワコー g1)	1		令和2年12月23日	
全自動遺伝子検査装置 (GeneXpertシステムG)	1		令和3年2月10日	
EXIA増幅ユニット (M-L302)	1		令和3年7月8日	
全自動輸血検査装置 (Erytra Eflexis)	1		令和3年9月10日	
超音波診断装置 (LOGIQ E10s)	1		令和4年3月29日	
Force Triad エネルギープラットフォーム	1		手術室	平成20年9月2日
内視鏡下椎間板摘出システム	1			平成20年9月17日
麻酔器 (エスティバ7900)	1	平成21年9月2日		
麻酔器 (ファビウスタイロ)	1	平成21年9月2日		
手術室用モニター (BSM-5100 麻酔器対応)	2	平成21年8月27日		
手術用顕微鏡	1	平成23年9月30日		
ハイビジョン外科用鏡視下システム	1	平成23年11月30日		
外科用Cアーム (GE)	1	平成26年12月20日		
超音波手術器 (ソノベット UST-2001)	1	平成26年11月28日		

	機器名	数量	設置場所	取得年月日
I 病院の概況	眼科（網膜・硝子体／白内障）手術装置コンステレーションビジョン	1	手術室	平成28年8月1日
	胆道ビデオスコープ CHF-240	1		平成20年8月20日
	外科用Cアーム（フィリップス）	1		平成28年12月28日
	次世代電気手術器（FT10）	1		平成30年1月30日
	トリガーポイントハンドピース	1		平成30年3月31日
	自動排煙装置クリスタルビジョン450D	1		令和2年7月28日
	インファウォーマi	1		令和2年9月24日
	外科手術用3D・IR内視鏡システム	1		令和2年9月1日
	超音波画像診断装置（S-Nerve L-07810）	1		麻酔科
手術管理システム	1	令和2年3月9日		
低温プラズマ滅菌システム（ステラット100S）	1	中央材料室	平成26年1月18日	
低温プラズマ滅菌システム（ステラットNX）	1		平成28年8月1日	
電子内視鏡システム（Q-260）	1	内視鏡	平成18年11月29日	
上部消化管汎用ビデオスコープ GIF-Q260J	1		平成20年8月26日	
上部消化管汎用ビデオスコープ GIF-XP260N	1		平成20年8月26日	
大腸ビデオスコープ（EVIS LUCERA TYPE Q260JI）	1		平成21年8月25日	
内視鏡システム（EVIS LUCERA ELITE）	1		平成25年11月8日	
超音波内視鏡システム（EU-MEI）	1		平成24年9月16日	
電子内視鏡システム（EVIS-LUCERAELITE）	1		平成28年8月1日	
内視鏡画像システム（オリンパス）	1		平成28年8月1日	
上部消化管用経鼻スコープ	1		平成29年10月16日	
カプセル内視鏡システム	1		平成29年10月16日	
超音波内視鏡システム（EVIS LUCERA ELITE）	1		平成30年3月29日	
気管支ビデオスコープ（BF-Q290）	1		令和2年9月30日	
ベッドサイドモニター（PVM-4761）	2		令和3年11月10日	
血液浄化装置 JUN-55X	1		血液透析室	平成20年9月30日
透析液供給装置	1			平成23年9月30日
血液透析機器（DBB-27（1））	1			平成24年10月29日
血液透析機器（DCS-100NX）	7			平成28年8月1日
血液濾過用装置 CART	1			平成29年11月30日
透析事業支援システム	1			令和2年3月31日
超音波画像診断装置（FCI-X）	1	令和2年10月7日		
経皮的心肺補助装置 キャピオスEBS	1	救急室	平成23年9月30日	
循環動態モーターシステム	1		平成24年10月31日	
超音波診断装置（Xario200）	1		平成26年11月28日	
ベッドサイドモニター	2		平成28年8月1日	
血ガス分析装置（ABL90）	1		平成28年7月22日	
超音波診断装置 M-Turbo	1		令和2年10月15日	
個人用透析監視装置（NCV-11 typeG）	2		令和2年12月1日	
経皮的循環補助システム（キャピオックスPCPS）	1		令和2年12月21日	
超音波画像診断装置（Venue Go）	1		令和2年12月25日	
人工呼吸器（MONNAL T60）	1		令和3年2月24日	
セントラルモニター4人用	1	救命	平成28年8月1日	
ベッドサイドモニター	11		平成28年8月1日	
血ガス分析装置（ABL825）	1		平成27年6月30日	
体温管理システム	1		令和2年4月1日	
FPD搭載移動型X線装置（Sirius Starmobile tiara）	1		令和3年2月19日	
マンモトームシステム	1	外科	平成22年9月21日	
ハイビジョン外科用鏡視下システム	1		平成24年9月30日	
超音波診断装置（SDD-ALPHA7-S）	1		平成25年10月31日	
次世代電気手術器（FT10）	1		平成30年1月30日	
超音波診断装置（Xario XG SSA-680）	1	泌尿器科	平成23年9月30日	

II
統計III
各部門の概況IV
論文

機器名	数量	設置場所	取得年月日	
YAGレーザー（ドルニエ）	1	泌尿器科	平成28年6月29日	
体外式衝撃波結石破碎装置（ドルニエ）	1		平成28年6月29日	
膀胱・腎盂軟性鏡ビデオスコープ（CYF-VHA）	1		平成30年1月30日	
経尿道的尿管結石破碎セット	1		令和元年9月30日	
超音波診断装置（ARIETTA 850SE）	1		令和2年10月15日	
サージトロンデュアルEMC	1	皮膚科	平成26年11月28日	
超音波診断装置（Affiniti50G）	1	小児科	平成29年8月31日	
インファントウォーマー iLCD	1		平成29年1月13日	
超音波診断装置（Affiniti30）	1		令和元年5月31日	
ネオテーブル（DS-30）	1		令和2年9月25日	
分娩監視装置（FM-20N）アトム	1	産婦人科	平成26年10月28日	
超音波診断装置（Prosound a7）	1		平成23年9月30日	
超音波診断装置（Xario 200）	1		平成27年11月26日	
超音波診断装置（Xario 100）	1		平成28年8月1日	
超音波診断装置（Xario 100）	1		平成29年2月22日	
超音波診断装置（Affiniti 70W）	1		令和2年12月7日	
OTC光干渉断層撮影装置（HS-100）	1	眼科	平成25年7月7日	
散瞳・無散瞳一体型眼底カメラ（VX-20・VK-2）	1		平成26年3月31日	
マルチカラーレーザー／ヤグレーザーコンビ	1		平成26年11月28日	
眼軸長測定システム（OA-2000）	1		平成30年1月30日	
スペキュラーマイクロスコープ	1		令和2年9月24日	
超音波画像診断装置（UD-8000）	1		令和3年5月21日	
開頭手術用ドリル（レジェンドシステム）	2		脳外科	平成20年8月12日
脳神経内視鏡システム（OTV-S7ProH-HD-12E）	1			平成25年5月7日
脳室ビデオスコープ（VEF-V）	1	平成25年5月7日		
成分採血装置（COM.TEC）	1	内科	平成21年8月27日	
汎用超音波画像診断装置（ファイブロスキャン502）	1		平成24年12月31日	
PD-OCTイメージングシステム	1		平成30年3月27日	
経鼻咽喉頭食道ビデオスコープセット（VISERA OFFJCE）	1	耳鼻咽喉科	平成21年7月3日	
透視下・内視鏡下脊椎手術システム	1	整形外科	平成22年9月28日	
低侵襲手術システム	1		平成25年11月27日	
脊椎用ハンドピース（ソノベット）	1		平成28年11月30日	
12人用モニターリングシステム（PU-611R）	1	3階西病棟	平成30年1月29日	
ベッドサイドモニター（PVM-4761）	1	4階西病棟	令和2年9月29日	
セントラルモニター 12人用	2		令和3年7月27日	
分娩監視装置（FM-20N）	2	4階東病棟	令和2年11月12日	
ベッドサイドモニター	1	4階南病棟	令和2年9月29日	
ベッドサイドモニター（PVM-4761）	1	5階西病棟	令和3年9月27日	
ベンチレータ980	3	臨床工学	令和2年10月30日	

I
病院の概況II
統計III
各部門の概況IV
論文

9. 令和3年度医療施設特別会計歳入歳出決算書

I. 収益的収入及び支出

(単位：円)

項目	区分	令和3年度 予算額	令和3年度 決算額	予算対比 (%)	備考
病院収益		8,615,837,000	10,100,512,413	17.2	
医業収益		8,018,494,000	8,321,341,888	3.8	病床稼働率 75.3%
入院診療収益		5,467,860,000	5,507,269,651	0.7	入院稼働日 365
外来診療収益		2,390,872,000	2,681,792,646	12.2	外来稼働日 242
その他医業収益		177,267,000	158,140,059	▲10.8	
保険等査定減		▲17,505,000	▲25,860,468	47.7	
医業外収益		596,343,000	1,777,998,429	198.2	
医療社会事業収益		500,000	898,824	79.8	
特別利益		500,000	273,272	▲45.3	
収益的収入合計		8,615,837,000	10,100,512,413	17.2	
病院費用		9,087,736,000	9,148,539,769	0.7	医業費用対医業収益負荷率
医業費用		8,991,842,000	9,064,053,782	0.8	108.9%
医業外費用		53,201,000	55,834,757	5.0	
医療奉仕費用		21,431,000	18,075,182	▲15.7	
特別損失		5,000,000	7,071,219	41.4	
法人税等		6,262,000	3,504,829	▲44.0	
予備費		10,000,000	0	-	
収益的支出合計		9,087,736,000	9,148,539,769	0.7	
当期純利益(損失)		▲471,899,000	951,972,644	-	

II. 資本的収入及び支出

(単位：円)

項目	区分	令和3年度 予算額※	令和3年度 決算額	予算対比 (%)	備考
病院収入		660,471,000	701,722,172	6.2	※当初予算額に補正 予算額を加えた額
固定負債		442,000,000	491,978,000	11.3	
その他資本収入		218,471,000	209,744,172	▲4.0	
資本的収入合計		660,471,000	701,722,172	6.2	
病院費		660,471,000	701,722,172	6.2	
固定資産		496,400,000	537,658,165	8.3	
借入金等償還		164,071,000	164,064,007	▲0.004	
資本的支出合計		660,471,000	701,722,172	6.2	

10. 令和4年度医療施設特別会計歳入歳出予算概算書

I. 収益的収入及び支出

(単位：円)

項目	区分	令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	対前年度比 (%)	備考
病院収益		8,615,837,000	9,575,251,000	11.1	
医業収益		8,018,494,000	8,870,599,000	10.6	病床稼働率 75.3%
入院診療収益		5,467,860,000	5,985,063,000	9.5	入院稼働日 365
外来診療収益		2,390,872,000	2,718,441,000	13.7	外来稼働日 242
その他医業収益		177,267,000	192,161,000	8.4	
保険等査定減		▲ 17,505,000	▲ 25,066,000	43.2	
医業外収益		596,343,000	702,361,000	17.8	
医療社会事業収益		500,000	2,000,000	300.0	
特別利益		500,000	291,000	▲ 41.8	
収益的収入合計		8,615,837,000	9,575,251,000	11.1	
病院費用		9,087,736,000	9,510,019,000	4.6	医業費用対医業収益負荷率
医業費用		8,991,842,000	9,415,621,000	4.7	106.1%
医業外費用		53,201,000	66,809,000	25.6	
医療奉仕費用		21,431,000	21,245,000	▲ 0.9	
特別損失		5,000,000	3,000,000	▲ 40.0	
法人税等		6,262,000	3,344,000	▲ 46.6	
予備費		10,000,000	0	▲ 100.0	
収益的支出合計		9,087,736,000	9,510,019,000	4.6	
当期純利益（損失）		▲ 471,899,000	65,232,000	-	

II. 資本的収入及び支出

(単位：円)

項目	区分	令和3年度 予算額※	令和4年度 予算額	対前年度比 (%)	備考
病院収入		660,471,000	458,503,000	▲ 30.6	※当初予算額
固定負債		442,000,000	1,000,000	▲ 99.8	
その他資本収入		218,471,000	457,503,000	109.4	
資本的収入合計		660,471,000	458,503,000	▲ 30.6	
病院費		660,471,000	458,503,000	▲ 30.6	
固定資産		496,400,000	54,673,000	▲ 89.0	
借入金等償還		164,071,000	403,830,000	146.1	
資本的支出合計		660,471,000	458,503,000	▲ 30.6	

11. 決算の推移（過去4か年）

(単位：円)

年度 項目	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	決算値	対前年度比 (%)	決算値	対前年度比 (%)	決算値	対前年度比 (%)	決算値	対前年度比 (%)
病院収益	9,368,835,254	2.1	9,616,071,736	4.8	9,358,689,937	▲ 0.1	10,100,512,413	5.0
医業収益	8,502,767,333	6.4	8,843,688,897	10.7	7,886,661,975	▲ 7.2	8,321,341,888	▲ 5.9
入院診療収益	5,992,167,642	4.0	6,111,680,875	6.1	5,276,937,338	▲ 11.9	5,507,269,651	▲ 9.9
外来診療収益	2,316,009,313	12.9	2,558,663,483	24.8	2,465,929,799	6.5	2,681,792,646	4.8
その他医業収益	205,089,034	9.9	199,842,401	7.0	167,695,126	▲ 18.2	158,140,059	▲ 20.9
保険等査定減	▲ 10,498,656	21.7	▲ 26,497,862	207.2	▲ 23,900,288	127.7	▲ 25,860,468	▲ 2.4
医業外収益	855,247,118	▲ 27.3	771,476,916	▲ 34.4	1,471,252,634	72.0	1,777,998,429	130.5
医療社会事業収益	124,859	▲ 69.3	382,473	▲ 5.9	503,917	303.6	898,824	135.0
特別利益	10,695,944	▲ 8.9	523,450	▲ 95.5	271,411	▲ 97.5	273,272	▲ 47.8
収益的収入合計	9,368,835,254	2.1	9,616,071,736	4.8	9,358,689,937	▲ 0.1	10,100,512,413	5.0
病院費用	9,500,384,577	▲ 8.8	9,333,652,823	▲ 10.4	8,939,270,387	▲ 5.9	9,148,539,769	▲ 2.0
医業費用	9,294,810,887	0.3	9,248,894,753	▲ 0.2	8,859,970,263	▲ 4.7	9,064,053,782	▲ 2.0
医業外費用	163,815,992	16.1	50,343,689	▲ 64.3	53,916,183	▲ 67.1	55,834,757	10.9
医療奉仕費用	24,370,293	4.9	24,357,189	4.8	18,275,175	▲ 25.0	18,075,182	▲ 25.8
特別損失	7,258,576	▲ 99.3	2,234,259	▲ 99.8	7,007,779	▲ 3.5	7,071,219	216.5
法人税等	10,128,829	1,496.8	7,822,933	1,133.3	100,987	▲ 99.0	3,504,829	▲ 55.2
収益的支出合計	9,500,384,577	▲ 8.8	9,333,652,823	▲ 10.4	8,939,270,387	▲ 5.9	9,148,539,769	▲ 2.0
医業収支	▲ 792,043,554	-	▲ 405,205,856	-	▲ 973,308,288	-	▲ 742,711,894	-
当期純利益（損失）	▲ 131,549,323	-	282,418,913	-	419,419,550	-	951,972,644	-

収益的収入及び支出

12. 院内委員会等組織表

令和4年4月1日

		委員会等名称	委員長等	開催日程	庶務等	
院長	会議	幹部会議	院長 宮原正晴	月1回	総務課	幹部ミーティング
		管理会議	院長 宮原正晴	月1回	総務課	
		業務連絡会議	院長 宮原正晴	随時	総務課	医局ミーティング
		診療管理会議	医局長 富樫りか	月1回	医局秘書	
		看護師長会議	看護部長 坂本美奈子	月2回	看護部	
		医療技術部課長会議	医療技術部長 仙波英之	月1回	医療技術部	看護係長会議
		事務部課長会議	事務部長 村山仁志	週1回	総務課	
		病院運営協議会	(会長) 副知事	年2回	経営情報課	
		新型コロナウイルス対策本部	院長 宮原正晴	随時	感染管理室	
管理・運営	診材物品等購入審査委員会	院長 宮原正晴	年4回以上	会計課		
	防火・防災管理委員会(災害対策委員会)	院長 宮原正晴	年2回	総務課		
	臨床研修委員会	院長 宮原正晴	年2回以上	教育研修推進センター		
	保険請求対策委員会	副院長 生田光	月1回	医事課		
	医学研究倫理委員会	副院長 田代克弥	随時	医事課		
	臨床倫理委員会	医療技術部長 仙波英之	随時	医事課		
	衛生委員会	事務部長 村山仁志	月1回	総務課		
	ハラスメント対策委員会	副院長 田代克弥	月1回	総務課		
	医療従事者等負担軽減委員会	院長 宮原正晴	隔月	総務課		
	省エネルギー推進委員会	院長 宮原正晴	随時	会計課		
	病床運営委員会	副院長 生田光	年1回	患者総合支援センター		
	医療安全	医療安全管理委員会	院長 宮原正晴	月1回	医療安全推進センター	医療安全管理専門小委員会 リスクマネジメント検討会
		医療機器安全管理委員会	副院長 生田光	年1回	会計課	
		医療事故調査委員会	院長 宮原正晴	随時	医療社会事業課	
院内感染対策委員会		副院長 田代克弥	月1回	感染対策室	感染制御チーム(ICT)	
褥瘡対策委員会(褥瘡対策チーム)		皮膚科副部長 栗原雄一	隔月	医事課	抗菌薬適正使用支援チーム(AST)	
薬事審議会		薬剤部長 田代克弥	年6回	薬剤部		
治験審査委員会		副院長 田代克弥	随時	薬剤部		
医療ガス安全管理委員会		麻酔科部長 嘉手川繁登	年1回	会計課		
放射線安全委員会		放射線科部長 松村泰成	年1回	総務課	MRI安全管理チーム	
医療放射線安全管理委員会		放射線科部長 松村泰成	年1回	総務課		
臨床検査管理委員会		病理診断科部長 明石道昭	年3回	検査技術課		
輸血療法委員会	疾病予防センター長 富樫りか	隔月	検査技術課			
診療管理	栄養管理委員会	院長 宮原正晴	年4回	栄養課		
	救急・ICU運営委員会	副院長 生田光	年4回	救命救急管理センター		
	手術室運営委員会	副院長 生田光	年2回	経営情報課		
	DPCコーディング委員会	副院長 田代克弥	隔月	医事課		
	クリニカルパス委員会	副院長 生田光	月1回	診療支援課		
	診療情報管理委員会	第2内科部長 長嶋昭憲	隔月	診療支援課		
	地域医療支援病院委員会	院長 宮原正晴	年1回	患者総合支援センター		
	地域がん診療連携拠点病院運営委員会	がん医療推進センター長 鮫島隆一郎	月1回	がん医療推進センター	がん医療推進センター 緩和ケアチーム	
	がん化学療法委員会	がん医療推進センター長 鮫島隆一郎	月1回	がん医療推進センター		
	NST委員会(栄養サポートチーム)	肝胆脾外科部長 神谷尚彦	隔月	栄養課		
	糖尿病委員会	内科医師 山崎孝太	月2回			
骨折リエゾンサービス委員会	副院長 生田光		経営情報課	骨折リエゾンサービスチーム		
サービス・情報	患者サービス向上委員会	院長 宮原正晴	月1回	経営情報課		
	個人情報保護委員会	事務部長 村山仁志	随時	医事課		
	情報システム委員会	副院長 生田光	年4回	経営情報課		
その他(PJ・WG等)	PFM推進プロジェクト	副院長 生田光	随時	患者総合支援センター		
	病院機能評価受審プロジェクト	副院長 田代克弥	随時	経営情報課		

I 病院の概況

II 統計

III 各部門の概況

IV 論文

II 統計

1. 統計

(1) 入院患者

区分 年度	病床数 (床)	入院患者 延数 (人)	病床 利用率 (%)	平均在院 日数 (日)	実日数 (日)	1日平均入院 患者数 (人)	入院診療単価 (円)
令和元年度	304	99,778	83.0	12.5	366	272.6	61,002
令和2年度	304	84,833	70.8	12.5	365	232.4	62,141
令和3年度	304	82,920	68.8	11.5	365	227.2	66,515

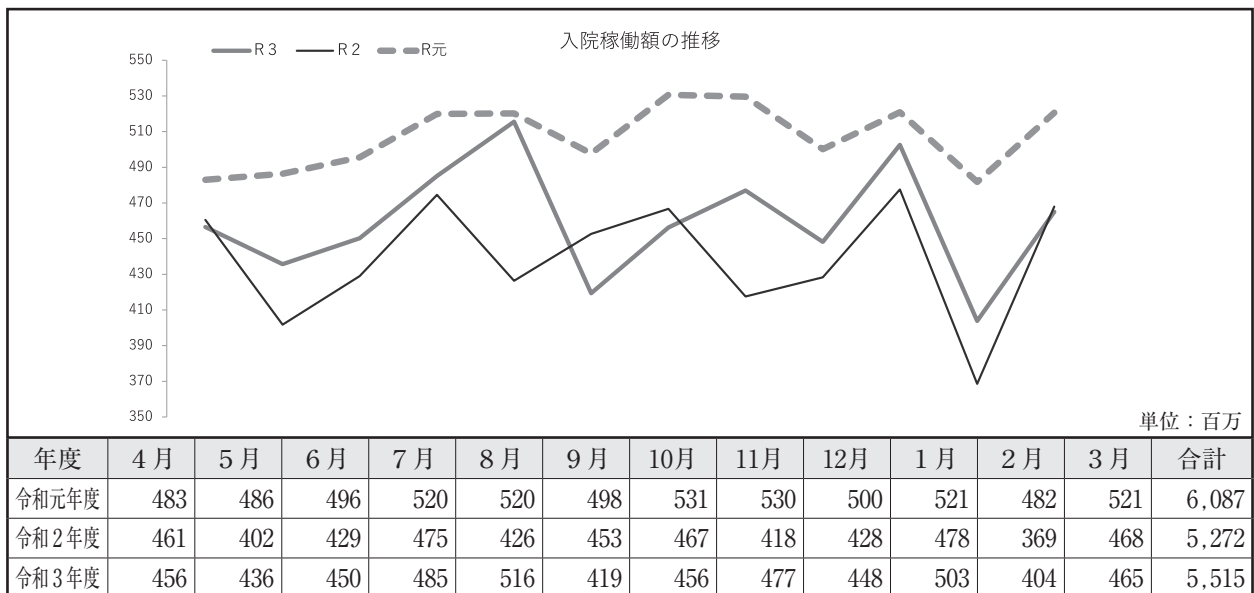
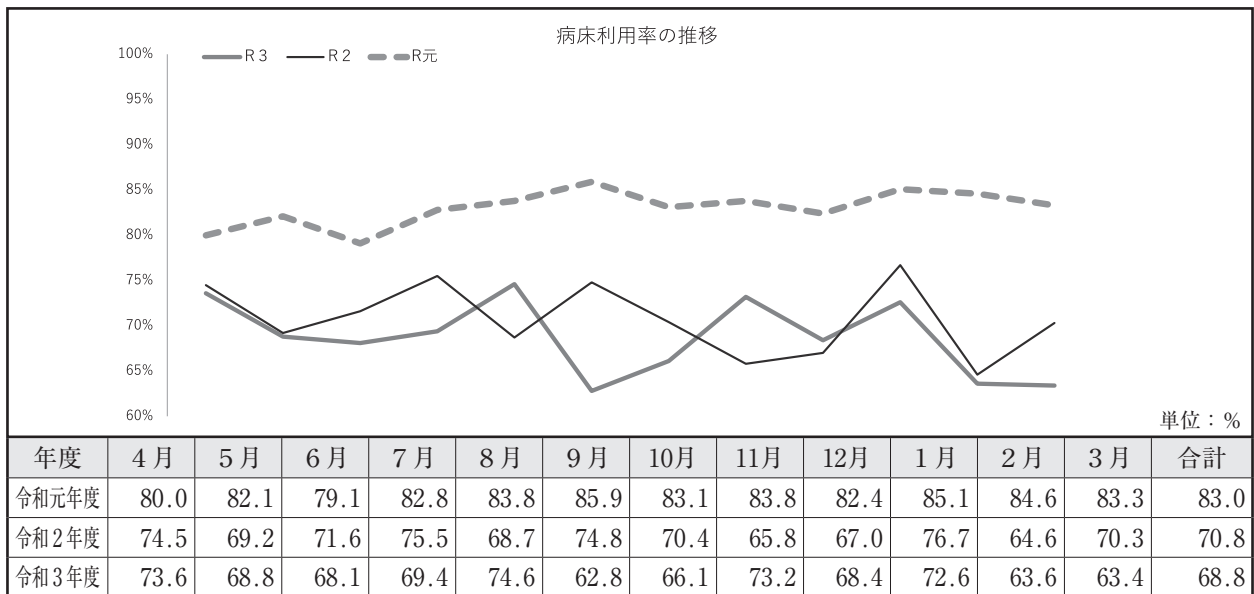
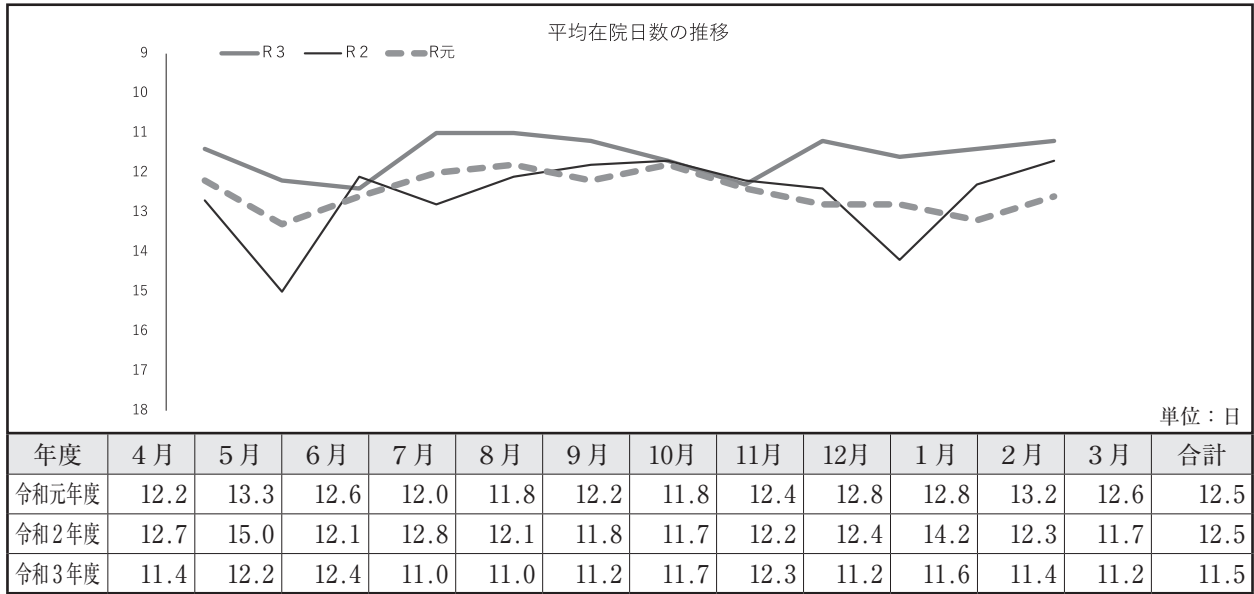
(2) 外来患者

区分 年度	外来患者 延数 (人)	紹介 患者数 (人)	紹介率 (%)	実日数 (日)	1日平均外来 患者数 (人)	外来診療単価 (円)
令和元年度	124,122	9,501	82.0	242	512.9	20,590
令和2年度	108,125	8,742	89.9	242	446.8	22,814
令和3年度	111,266	9,309	95.2	242	459.8	24,077

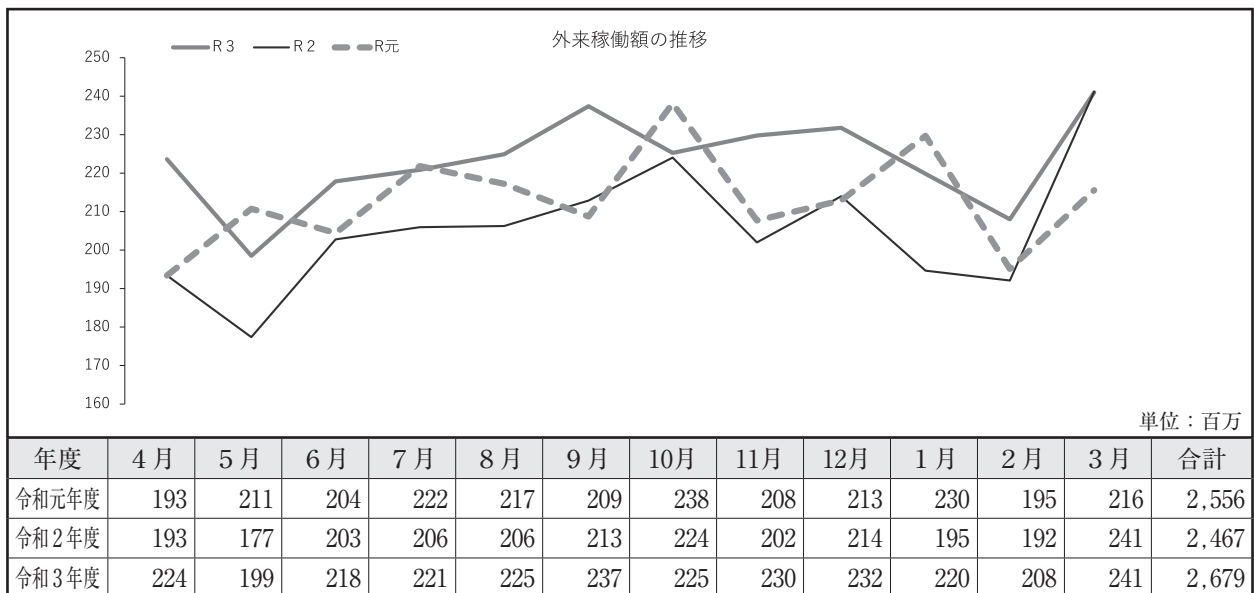
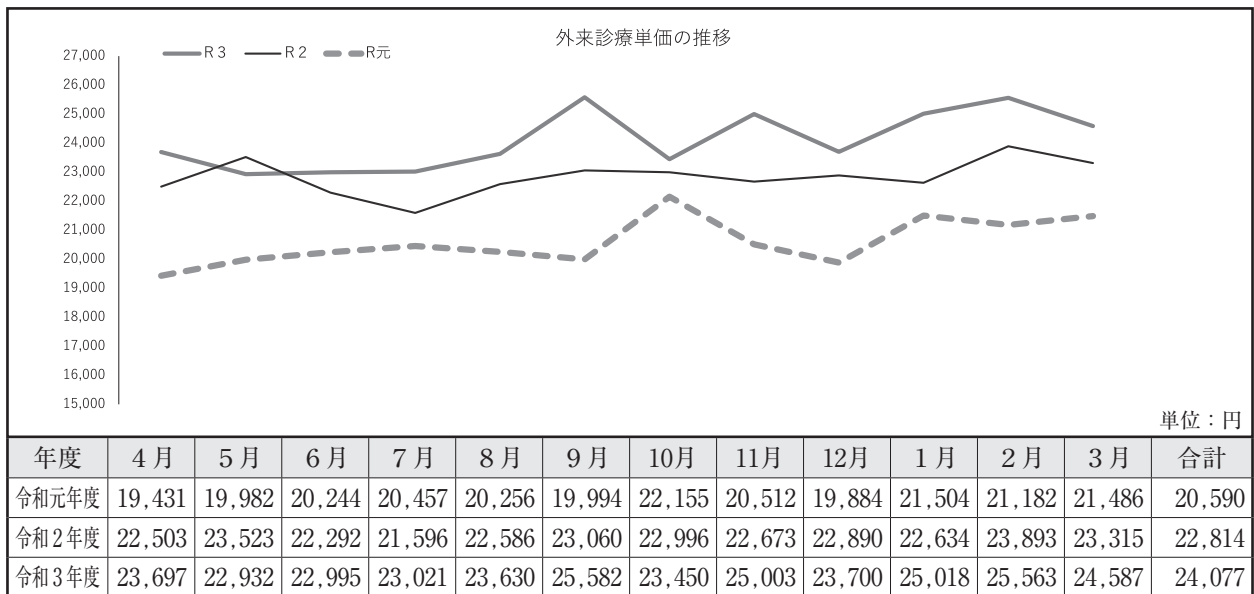
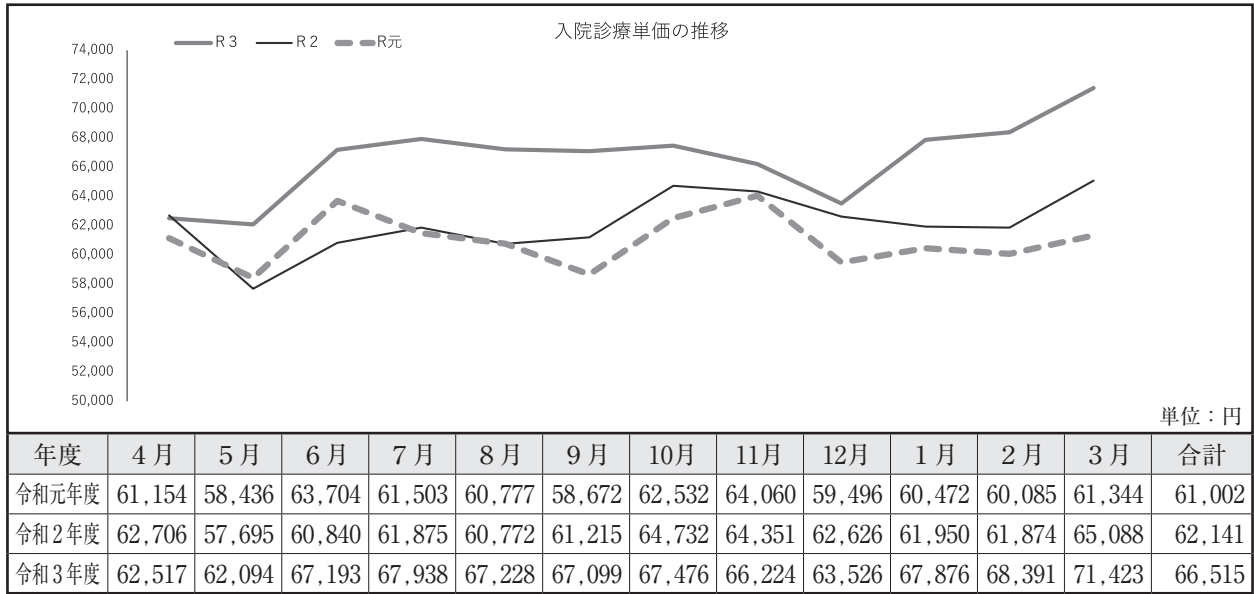
(3) 救急患者

区分 年度	患者数 (人)	診療科別内訳							患者搬送別	
		内科	小児科	外科	整形外科	脳神経外科	産婦人科	その他	救急車	その他
令和元年度	16,260	3,344	8,913	923	844	416	186	1,634	2,250	14,010
令和2年度	8,699	2,406	3,509	575	599	319	134	1,157	1,867	6,832
令和3年度	10,206	2,989	4,551	511	568	383	153	1,051	2,081	8,125

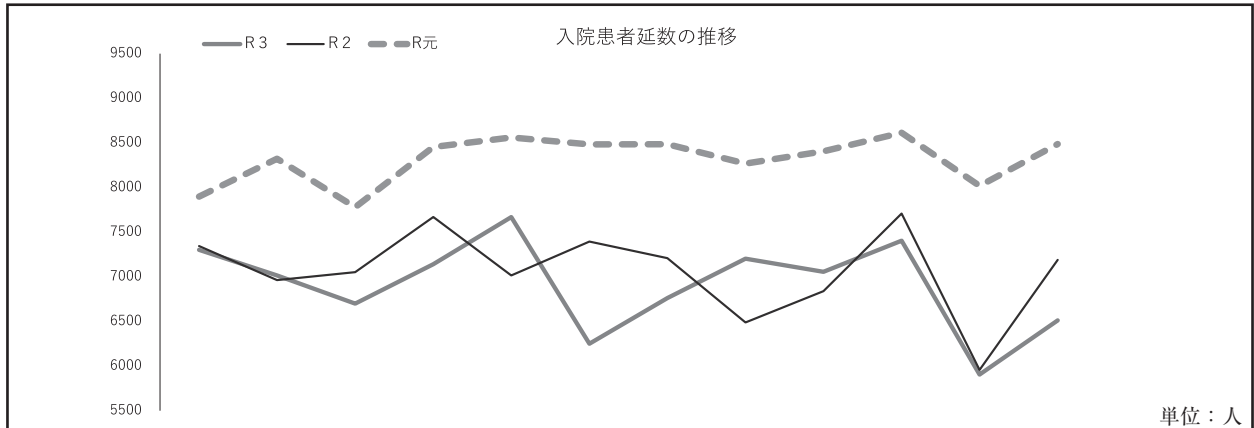
(4) 平均在院日数・病床利用率・入院稼働額の推移



(5) 入院診療単価・外来診療単価・外来稼働額の推移

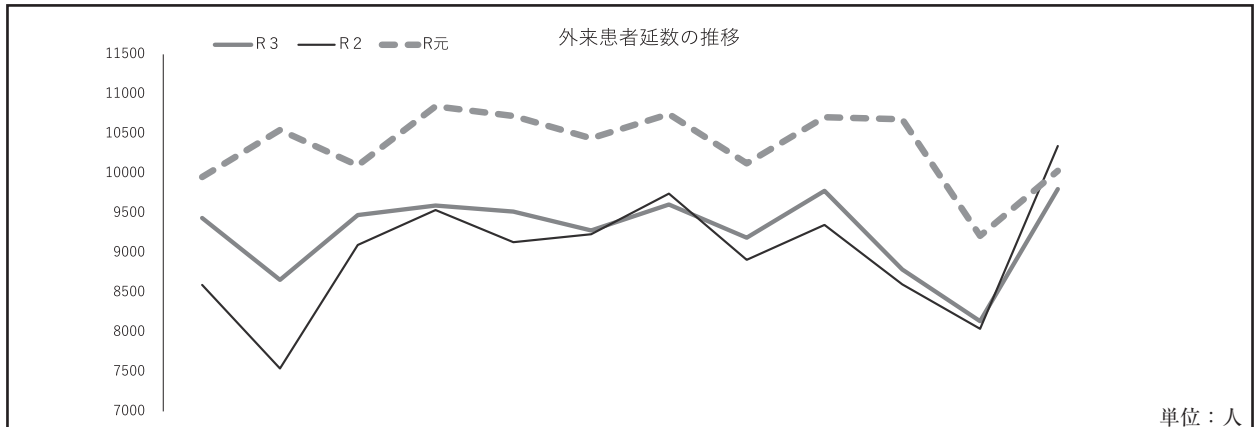


(6) 入院患者延数・外来患者延数・稼働額の推移



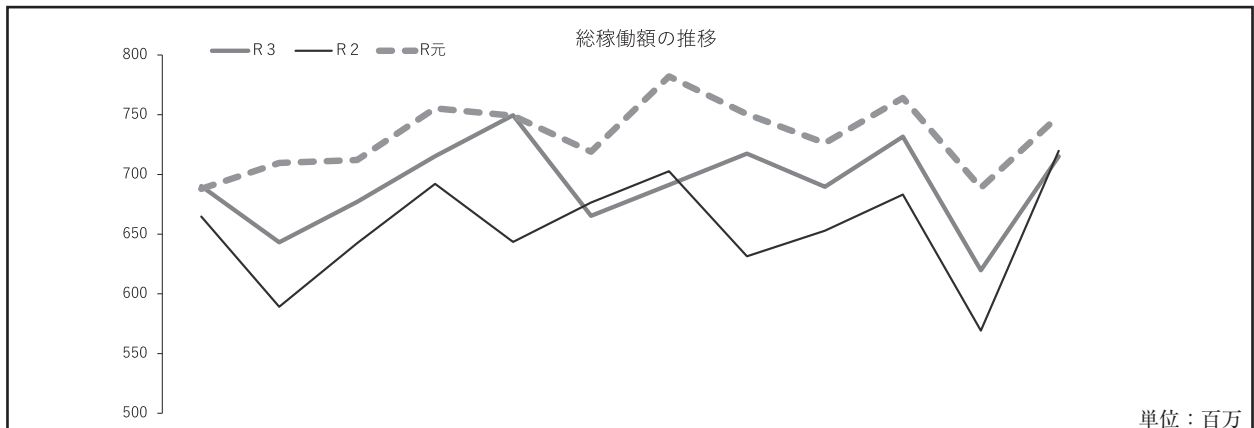
単位：人

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和元年度	7,898	8,323	7,780	8,454	8,560	8,483	8,486	8,268	8,406	8,614	8,019	8,487	102,338
令和2年度	7,344	6,963	7,052	7,670	7,016	7,395	7,210	6,489	6,839	7,709	5,957	7,189	84,833
令和3年度	7,302	7,016	6,700	7,141	7,669	6,251	6,761	7,203	7,056	7,404	5,905	6,512	82,920



単位：人

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和元年度	9,954	10,547	10,100	10,845	10,724	10,442	10,748	10,127	10,708	10,682	9,212	10,033	122,222
令和2年度	8,595	7,541	9,097	9,538	9,132	9,232	9,744	8,910	9,350	8,600	8,041	10,345	108,125
令和3年度	9,437	8,657	9,475	9,594	9,519	9,280	9,607	9,190	9,780	8,788	8,137	9,802	111,266



単位：百万

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和元年度	688	710	712	755	749	719	782	750	726	764	689	749	8,794
令和2年度	665	589	642	692	643	676	703	631	653	683	569	720	7,868
令和3年度	690	643	677	715	750	665	691	718	690	732	620	715	8,306

(7) 診療科別入院患者数 単位：人

科別 年度	内科	小児科	外科	整形 外科	脳神経 外科	皮膚科	泌尿 器科	産婦 人科	眼科	耳鼻 咽喉科	放射 線科	麻酔科	救急科	形成 外科	歯科	合計
平成29年度	46,331	4,998	14,109	18,298	8,727	659	3,009	2,746	1,488	0	5	5	835	444		101,654
平成30年度	40,743	5,654	15,126	18,389	10,814	771	4,132	3,390	1,946	0	0	5	578	790	0	102,338
令和元年度	41,671	5,360	13,890	17,264	10,227	611	3,526	3,576	1,392	0	2	0	1,032	1,227	0	99,778
令和2年度	35,952	3,826	11,278	15,573	9,005	1,283	2,506	2,619	820	0	0	0	511	1,460	0	84,833
令和3年度	39,230	4,772	9,831	12,426	9,711	547	2,459	2,423	440	0	0	6	18	1,057	0	82,920

(8) 診療科別外来患者数 単位：人

科別 年度	内科	小児科	外科	整形 外科	脳神経 外科	皮膚科	泌尿 器科	産婦 人科	眼科	耳鼻 咽喉科	放射 線科	麻酔科	救急科	形成 外科	歯科	合計
平成29年度	38,239	16,258	14,883	12,401	2,997	4,463	5,167	6,078	9,204	1,239	3,088	157	638	1,099		115,911
平成30年度	39,189	16,299	14,692	12,823	3,136	4,273	5,559	6,231	9,276	1,351	3,186	104	595	1,712	3,796	122,222
令和元年度	39,709	17,668	14,793	11,887	2,969	4,803	5,663	6,155	9,563	1,375	2,796	67	625	1,814	4,235	124,122
令和2年度	35,675	11,229	14,014	11,072	2,556	4,277	4,791	5,291	9,569	1,108	1,967	65	424	1,672	4,415	108,125
令和3年度	36,805	13,449	13,638	10,869	2,774	3,818	4,800	5,689	10,313	1,222	1,858	112	184	1,458	4,277	111,266

(9) 手術件数 単位：人

科別 年度	内科	小児科	外科	整形 外科	脳神経 外科	皮膚科	泌尿 器科	産婦 人科	眼科	耳鼻 咽喉科	放射 線科	麻酔科	救急科	形成 外科	歯科	合計
平成29年度	1,161	11	906	1,195	297	103	258	211	442	11	3	24	108	135		4,865
平成30年度	1,234	37	1,012	1,137	304	79	285	313	533	5	1	16	78	189	816	6,039
令和元年度	1,290	19	1,040	1,215	268	98	261	307	569	10	1	10	78	203	1,223	6,592
令和2年度	1,157	23	928	945	196	214	224	240	502	4	0	11	56	196	1,260	5,956
令和3年度	1,274	23	927	861	203	140	198	229	528	8	1	22	33	279	1,173	5,899

(10) 月別患者数（入院・外来）

区分 月	入 院				外 来		
	実日数 (日)	患者延数 (人)	1日平均 (人)	病床利用率 (%)	実日数 (日)	患者延数 (人)	1日平均 (人)
4月	30	7,302	243.4	73.6%	21	9,437	449.4
5月	31	7,016	226.3	68.8%	18	8,657	480.9
6月	30	6,700	223.3	68.1%	22	9,475	430.7
7月	31	7,141	230.4	69.4%	20	9,594	479.7
8月	31	7,669	247.4	74.6%	21	9,519	453.3
9月	30	6,251	208.4	62.8%	20	9,280	464.0
10月	31	6,761	218.1	66.1%	21	9,607	457.5
11月	30	7,203	240.1	73.2%	20	9,190	459.5
12月	31	7,056	227.6	68.4%	20	9,780	489.0
1月	31	7,404	238.8	72.6%	19	8,788	462.5
2月	28	5,905	210.9	63.6%	18	8,137	452.1
3月	31	6,512	210.1	63.4%	22	9,802	445.5
合計	365	82,920	227.2	68.8%	242	111,266	459.8

(11) 検査件数

項目別 年度	一般	生理	血液	生化学	血清 (免疫学的)	細菌 (微生物学的)	病理	合計
平成30年度	6,659	244,449	45,650	50,134	54,995	4,896	12,732	419,515
令和元年度	6,263	251,364	47,794	53,957	57,654	5,560	13,594	436,186
令和2年度	5,995	228,930	44,034	48,707	51,716	5,861	12,832	398,075
令和3年度	6,960	249,041	51,344	51,263	58,899	8,813	13,781	440,101

(12) 放射線撮影件数 単位：件

区分 年度	撮影	透視	CT	MRI	RI	血管 造影	心臓 カテ	放射線 治療	骨密度 測定	画像データ 取扱	合計
令和元年度	41,798	1,338	13,735	5,603	360	173	331	9,989	679	5,927	79,933
令和2年度	38,710	1,401	13,969	4,851	441	166	348	5,601	623	5,661	71,771
令和3年度	39,658	1,336	13,311	4,957	443	136	280	6,383	807	6,025	73,336

※画像データ取扱：画像取込件数含む

(13) 給食件数 単位：件

区分 年度	常食	軟菜食	特別食	合計
令和元年度	73,307	40,663	117,765	231,735
令和2年度	72,306	39,904	96,611	208,821
令和3年度	73,073	42,157	89,221	204,451

(14) 薬剤業務数 単位：枚

(a) 調剤業務

区分 年度	調剤薬処方箋枚数			注射箋枚数			院外処方箋	
	外来	入院	合計	外来	入院	合計	枚数	発行率
平成30年度	5,060	70,721	75,781	18,632	76,074	94,706	67,900	95.96%
令和元年度	4,615	70,787	75,402	19,474	73,736	93,210	69,968	93.81%
令和2年度	4,577	60,593	65,170	17,894	63,732	81,626	59,443	92.85%
令和3年度	4,947	60,072	65,019	19,769	67,249	87,018	59,755	92.35%

(b) TPNの無菌調製

区分 年度	件数	本数
平成30年度	159	159
令和元年度	77	77
令和2年度	85	85
令和3年度	185	185

(c) 抗癌剤の無菌調製

区分 年度	件数	本数
平成30年度	4,431	7,627
令和元年度	4,785	7,734
令和2年度	4,093	6,694
令和3年度	3,955	6,525

(d) 院内製剤の調製

区分 年度	品目数
平成30年度	14
令和元年度	14
令和2年度	14
令和3年度	14

(e) その他

区分 年度	薬剤管理指導		錠剤鑑別 件数	薬剤情報 配信回数
	病棟数	件数		
平成30年度	9	8,975	34,502	70
令和元年度	9	9,027	37,015	67
令和2年度	9	7,109	33,143	74
令和3年度	9	6,589	34,812	66